

大分県 佐伯市

佐伯市には豊かな自然が残っています。風光明媚のリアス式海岸と雄大な原生林の茂る祖母・傾山山系はいずれも国定公園です。また、清流「番匠川」は、源流から河口まで全てが佐伯市を流れます。人々の生活の中に自然があり、海・山・川から多くの恵みを受け、美しい四季の移ろいを感じるまちです。

〔人口〕 72,203人 (H27.10.1)

〔面積〕 903.11km²

〔ふるさと納税寄付額 (H29年度)〕

23,968件 1,350,212千円



「佐伯城三ノ丸櫓門」

豊後佐伯城の現存する唯一の遺構です。佐伯観光の最大のシンボルでもあります。(大分県有形文化財指定)



「豊後二見ヶ浦」

初日の出スポットとして人気の場所です。夫婦岩を結ぶ大しめ縄は、長さ約65m、重さ約2トンです。



「干物」

全国的に知られる佐伯の干物は、伝統的な海の幸として、大切に受け継がれています。



「ごまだし」

佐伯の漁師町に伝わるごまだしは、地元の魚で作る調味料です。うどんに入れて食べると相性抜群です。

佐伯市は、2017年6月14日「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」に登録されました。登録時点では、日本国内で9箇所目になります(世界669箇所)。

ユネスコエコパークとは、生態系の保全と持続可能な調和(自然と人間社会の共生)を目的に1976年からユネスコが開始した事業です。



宇目地域から望む傾山

ユネスコエコパークを
活用したまちづくり



キャニオニングを楽しむ

これからは、世界的な認証地域として、自然を保全する学術的な研究・調査活動はもちろんのこと、ツーリズムの展開やアウトドアイベントの開催、郷土芸能文化の保存・継承、有機的農産物の開発などに取り組んでいきます。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会では、安全・快適に登山を楽しんでいただくため、山歩きの手引きを作成し、配布しています。また、キャニオニングやトレッキング、キャンプなど、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの豊かな自然を活かしたアクティビティーを実施しています。

さらに、次世代を担う小中学生も自然観察やキャンプを行い、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの活動理念である「自然との共生」を頭で考えるだけでなく、体で感じる事ができています。

応援しています！～寄付者の声～

- ・豊かな自然を未来に渡って維持するための一助になれば、幸いです。
- ・豊かな自然に憧れます。いつまでも素晴らしい自然を守ってください。
- ・佐伯市の綺麗な自然にまた会いたいです。

感謝しています！～住民の声～

- ・地元こんなに素晴らしい自然があるとは知りませんでした。
- ・この豊かな自然を大切に守り、育てていきたいと思います。